



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 彦根市岡町 52

TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

平成30年上半期の対前年比較表

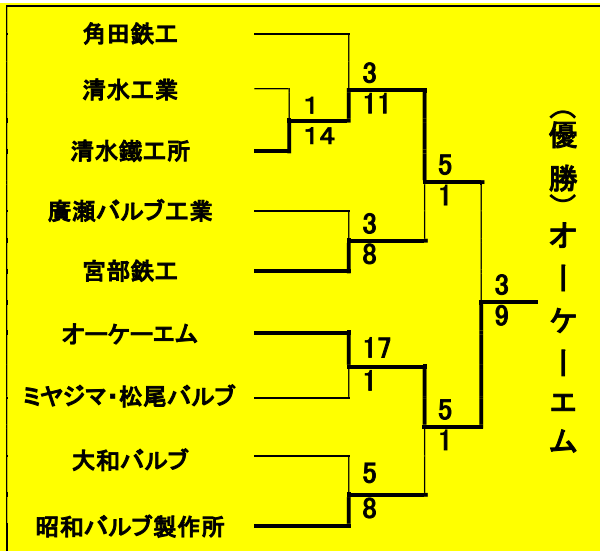
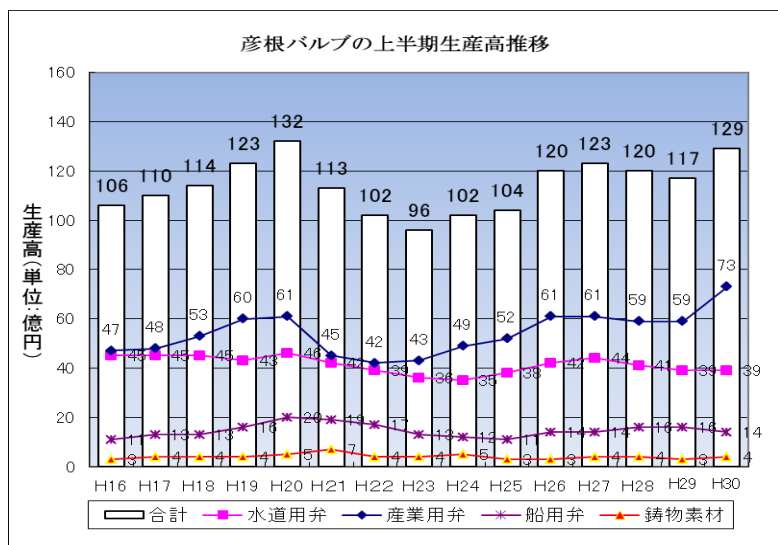
(単位：百万円)

種 類 別	平成30年 (1~6月)	平成29年 (1~6月)	増 減 率 (%)
水道用弁	3,877	3,896	-0.5
一般産業用弁	7,267	5,880	23.6
船用弁	1,372	1,626	-15.6
鋳物素材	398	347	14.7
合 計	12,914	11,749	9.9

前年比9.9%増の129億円台

平成30年上期(1月~6月)のバルブ生産高調査(22社)の結果がまとまり、生産高は129億1400万円と前年同期比で11億6500万円増、増減率でプラス9.9%となりました。業種別では水道用弁は前年同期比マイナス0.5%(1900万円減)の38億7700万円と3年連続の減少となりました。要因としては前期に引き続き首都圏での発注が低調な状況が続いているためと思われる。産業用弁は前年同期比プラス23.6%(13億8700万円)

増)の3億9800万円と国内需要の増加と地場バルブ業界からの発注増の影響によるものと思われる。このように水道用弁と船用弁は減少しましたが産業用弁、鋳物素材の増加により前年比大幅に増加する結果となりました。今後の見通しとして産業用弁・鋳物素材は引き続き国内需要が増加すると予想されます。水道用弁は大阪北部地震や西日本豪雨災害による水道管路への切替が一段と取りざたされるも、自治体予算は厳しさを増し早急な改善が期待できず、受注は横ばい状態で推移するものと思われる。船用弁は、大型商船が引き続き厳しい受注状況と予想され、当面は厳しい舵取りになりそうです。



第31回軟式野球大会(多賀町民グラウンド)
【日本バルブ工業会・日刊工業新聞社後援】
5月27日・6月17・30日開催

滋賀県立大学特別講演
去る7月10日、滋賀県立大学工学部1年生向けの講義に「機械と地場産業」のテーマで、「彦根のバルブ産業について」と題して(株)オークエム常務奥村晋一氏が特別講義をされた。これは、3年前より滋賀県立大学の知名度アップと将来を担う人材確保の活動として組合青年部活動として実施しているものです。

「新人・若手社員向け研修会」
青年部が主体となり、去る7月12日に開催した「新人・若手社員向け研修会」には、11社30名の参加がありました。

業界短信
平成30年6月20日付けで(株)清水鐵工所代表取締役社長に清水智弘氏が前社長清水克己氏は代表取締役会長にそれぞれ就任されました。また、6月27日付けで(株)オークエム代表取締役社長に村井米男氏が前社長奥村恵一氏は取締役会長に就任されました。

事務局夏季休暇
8月13日(月)~15日(水)まで夏季休暇としますので、ご承知下さいませ。

30年入社が22名、29年入社が5名と入社間もない方がほとんどで、熱心に受講いただきました。

安全標語

本年度の安全標語の募集には、18社534名の応募があり、去る7月11日に、彦根労働基準監督署長、同安全衛生課長、正・副理事長を審査員として審査会を開催、次の通り優秀作品が選ばれた。

一席 職場に聞こえる「お疲れさま」 無事故の証の合言葉 廣瀬バルブ工業(株) 安田 晴彦	二席 慣れた作業、ひよつこ顔出す危険の芽無くそう 現場のうっかりはん (株)清水鐵工所 中村 道人	二席 見て見ぬふりが事故のもと 初心者ベテラン区別なし 古川工業(株) 田川 吉和	三席 作業速度も品質も全ては安全あればこそ (株)清水合金製作所 鳥居 祐介	三席 恥ずかしがらずに指さし、声だし、安全確認 やれば必ず事故は減る (株)清水鐵工所 西山 雅人	三席 緊張感 途切れたところに事故がある サポートするのは 日頃の対策 (株)昭和バルブ製作所 山崎 春美
三席 輝く個人の技能ドリブル みんながまわす業務パス 社会に届け製品シユート 舞台は安全第一スタジアム 清水工業(株) 清水 康裕	佳作 目標は、 効率、コスト、不良率、色々あれど 安全は、一番大事な自分の約束 宮部鉄工(株) 井戸 真也	佳作 事故がない それが我社の 金メダル (株)オークエム 佐治 建百	佳作 目をかけ、手をかけ、気にかけて 地道な心がけて、ゼロ工場 松尾バルブ工業(株) 川村 二三	彦根労働基準監督署署長特別賞 安全を 習慣付けて無災害 日々の賜物、ゼロ企業 (株)清水合金製作所 中村 卓朗	